

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	九州歯科大学
設置者名	公立大学法人九州歯科大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
歯学部	歯学科	夜・通信			146. 5	146. 5	19	
	口腔保健学科	夜・通信			63	63	13	
		夜・通信						
		夜・通信						

(備考) 現在、実務経験のある教員等による授業科目は、一覧表として公表しているが、2020年度はシラバスに記載する。

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

歯学科 <a href="https://www.kyu-dent.ac.jp/departments/dentistry/subject">https://www.kyu-dent.ac.jp/departments/dentistry/subject</a>
口腔保健学科 <a href="https://www.kyu-dent.ac.jp/departments/oral/subject">https://www.kyu-dent.ac.jp/departments/oral/subject</a>

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	九州歯科大学
設置者名	公立大学法人九州歯科大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.kyu-dent.ac.jp/about/corporation/officer>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	九州大学高等研究院 特別主幹教授	2018.4.1～ 2020.3.31	法人の運営等につ いて
非常勤	北九州商工会議所会頭	2018.4.1～ 2020.3.31	法人の運営等につ いて
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	九州歯科大学
設置者名	公立大学法人九州歯科大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>授業計画は学科ごとに以下の経過で作成し、公表を行っている。</p> <p>(1) 歯学部歯学科</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①授業実施計画を定めるカリキュラムマップ作成 (6月-9月)</li> <li>②シラバス作成 (10月-2月)</li> <li>③歯学科教務部会で審査・承認 (2月)</li> <li>④ホームページ上で公表 (3月)</li> </ul> <p>(2) 歯学部口腔保健学科</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①授業実施計画を定めるカリキュラムマップ作成 (4月-6月)</li> <li>②シラバス作成 (7月-8月)</li> <li>③口腔保健学科教務部会で審査・承認 (9月)</li> <li>④歯科衛生士法施行令で定める変更承認申請 (9月)</li> </ul> <p>⑤ホームページ上で公表 (3月)</p>	
授業計画書の公表方法	<a href="https://kyu-dent.univ-products.jp/syllabus/select/openIndex">https://kyu-dent.univ-products.jp/syllabus/select/openIndex</a>
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>各学生の学修成果に基づき、科目別に本学シラバスにおいてあらかじめ設定した成績評価方法・基準により、厳格かつ適正に単位授与又は履修認定を実施している。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・GPA等の客観的な指標の具体的な内容            本学では点数区分別に成績評価を行っており、九州歯科大学履修規程において「秀(90~100点)、優(80~89点)、良(70~79点)、可(60~69点)及び不可(59点以下)で表し、不可は不合格とする。」と定めている。</li> <li>・客観的な指標の適切な実施状況            あらかじめ履修規程で定めた算出方法を基にGPAの数値を算出している。各科目の成績について秀、優、良、可、不可をそれぞれ順にGPA4, 3, 2, 1, 0に換算し、計算を行っている。</li> </ul>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p><a href="https://www.kyu-dent.ac.jp/about/greeting">https://www.kyu-dent.ac.jp/about/greeting</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>歯学部歯学科では以下のとおりディプロマポリシーを定めている</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 豊かな教養、人間性、学識を有し、患者中心の全人的歯科医療を提供する基礎的能力が備わっていること</li> <li>2. 歯科医師として求められる専門知識・技能・態度が備わっていること</li> <li>3. 科学的根拠に基づいた歯科医療を実践する方法論を身につけていること</li> <li>4. 全ての世代に対して全身の健康という視点に立った歯科医療活動ができる基礎的能力が備わっていること</li> <li>5. 多職種と連携し、歯科医療を通じて地域社会に貢献する基礎的能力が備わっていること</li> <li>6. 国際的な視野に立って歯科医療活動を行う基礎的能力が備わっていること</li> <li>7. 問題の自己解決能力を有し、国際的な研究を通じて歯科医療の発展に寄与する基礎的能力が備わっていること</li> </ol> <p>歯学部口腔保健学科では以下のとおりディプロマポリシーを定めている</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 豊かな教養、人間性、学識を有し、地域住民に対して十分な保健医療福祉活動ができる基礎的能力が備わっていること</li> <li>2. 歯科衛生士として求められる専門的知識・技術・態度が備わっていること</li> <li>3. 科学的根拠に基づいた口腔保健活動を実践する方法論を身につけていること</li> <li>4. 全ての世代に対して全身の健康という視点に立った歯科衛生活動ができる基礎的能力が備わっていること</li> <li>5. 多職種とともに地域の保健・医療・福祉の分野で社会貢献できる基礎的能力が備わっていること</li> <li>6. 国際的な視野に立って口腔保健活動を行う基礎的能力が備わっていること</li> <li>7. 学際領域の学問分野とともに、地域社会の発展に寄与する国際的な研究を展開する基礎的能力が備わっていること</li> </ol> <p>卒業の認定に関する方針の適切な実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本学ではディプロマポリシー及び卒業コンピテンシーに基づき学科毎にカリキュラムマップ及び各科目のシラバスを作成し、教育課程を定めている。</li> <li>卒業の認定は学長が行う。修業年限(歯学科6年、口腔保健学科4年)以上在学し、九州歯科大学履修規程に定める全教育課程を履修し、かつ、卒業要件を満たす場合に認定される。</li> </ul>	

卒業の認定に関する 方針の公表方法	歯学部歯学科： <a href="https://www.kyuden.ac.jp/departments/dentistry/educational">https://www.kyuden.ac.jp/departments/dentistry/educational</a> 歯学部口腔保健学科： <a href="https://www.kyuden.ac.jp/departments/oral/educational">https://www.kyuden.ac.jp/departments/oral/educational</a>
----------------------	---

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	九州歯科大学
設置者名	公立大学法人九州歯科大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://www.kyu-dent.ac.jp/files/uploads/29zaimushohyou.pdf">https://www.kyu-dent.ac.jp/files/uploads/29zaimushohyou.pdf</a>
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	
事業報告書	<a href="https://www.kyu-dent.ac.jp/files/uploads/H29jisseki.pdf">https://www.kyu-dent.ac.jp/files/uploads/H29jisseki.pdf</a>
監事による監査報告(書)	<a href="https://www.kyu-dent.ac.jp/files/uploads/29_kanjiikensyo2.pdf">https://www.kyu-dent.ac.jp/files/uploads/29_kanjiikensyo2.pdf</a>

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:公立大学法人九州歯科大学年度計画 対象年度:平成31年度)
公表方法: <a href="https://www.kyu-dent.ac.jp/files/uploads/31nendokeikaku.pdf">https://www.kyu-dent.ac.jp/files/uploads/31nendokeikaku.pdf</a>
中長期計画(名称:公立大学法人九州歯科大学中期目標 対象年度:平成30年4月1日~平成36年3月31日)
公表方法: <a href="https://www.kyu-dent.ac.jp/files/uploads/dai3kityuukimokuhyou.pdf">https://www.kyu-dent.ac.jp/files/uploads/dai3kityuukimokuhyou.pdf</a>

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: <a href="http://www.kyu-dent.ac.jp/files/uploads/H29jikohyokakekka_2.pdf">http://www.kyu-dent.ac.jp/files/uploads/H29jikohyokakekka_2.pdf</a>
---

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: <a href="http://www.kyu-dent.ac.jp/files/uploads/28_daigakujikohyouka.pdf">http://www.kyu-dent.ac.jp/files/uploads/28_daigakujikohyouka.pdf</a>
---

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 歯学部
教育研究上の目的（公表方法： <a href="http://www.kyu-dent.ac.jp/about/charter">http://www.kyu-dent.ac.jp/about/charter</a> ）
<p>(概要)</p> <p>九州歯科大学憲章において、以下の教育研究目標を定めている。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. プロフェッションとしての人間性、豊かな教養、専門知識および技能の備わった歯科医療人を育成する。</li><li>2. 科学的情報を正しく解釈し、根拠に基づいた歯科保健医療活動が行える人材を育成する。</li><li>3. 全身の健康という視点に立ち、いかなる社会構造の変化にも対応できる歯科医療人を育成する。</li><li>4. 多職種と連携し、歯科保健医療を通じて地域社会に貢献することができる歯科医療人を育成する。</li><li>5. 国際連携交流活動を強化し、国際的な視野に立って歯科保健医療活動が行える人材の育成を推進する。</li><li>6. 学際領域の学問分野と協働し、地域社会の発展に寄与する国際的な研究を展開する。</li></ol>
卒業の認定に関する方針（公表方法：） 歯学部歯学科 <a href="http://www.kyu-dent.ac.jp/departments/dentistry/educational">http://www.kyu-dent.ac.jp/departments/dentistry/educational</a> 歯学部口腔保健学科 <a href="http://www.kyu-dent.ac.jp/departments/oral/educational">http://www.kyu-dent.ac.jp/departments/oral/educational</a>
<p>(概要)</p> <p>歯学部歯学科では以下のとおりディプロマポリシーを定めている</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 豊かな教養、人間性、学識を有し、患者中心の全人的歯科医療を提供する基礎的能力が備わっていること</li><li>2. 歯科医師として求められる専門知識・技能・態度が備わっていること</li><li>3. 科学的根拠に基づいた歯科医療を実践する方法論を身につけていること</li><li>4. 全ての世代に対して全身の健康という視点に立った歯科医療活動ができる基礎的能力が備わっていること</li><li>5. 多職種と連携し、歯科医療を通じて地域社会に貢献する基礎的能力が備わっていること</li><li>6. 国際的な視野に立って歯科医療活動を行う基礎的能力が備わっていること</li><li>7. 問題の自己解決能力を有し、国際的な研究を通じて歯科医療の発展に寄与する基礎的能力が備わっていること</li></ol> <p>歯学部口腔保健学科では以下のとおりディプロマポリシーを定めている</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 豊かな教養、人間性、学識を有し、地域住民に対して十分な保健医療福祉活動ができる基礎的能力が備わっていること</li><li>2. 歯科衛生士として求められる専門的知識・技術・態度が備わっていること</li><li>3. 科学的根拠に基づいた口腔保健活動を実践する方法論を身につけていること</li><li>4. 全ての世代に対して全身の健康という視点に立った歯科衛生活動ができる基礎的能力が備わっていること</li><li>5. 多職種とともに地域の保健・医療・福祉の分野で社会貢献できる基礎的能力が備わっていること</li><li>6. 国際的な視野に立って口腔保健活動を行う基礎的能力が備わっていること</li><li>7. 学際領域の学問分野とともに、地域社会の発展に寄与する国際的な研究を展開する基礎的能力が備わっていること</li></ol>

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：）

歯学部歯学科 <http://www.kyu-dent.ac.jp/departments/dentistry/educational>

歯学部口腔保健学科 <http://www.kyu-dent.ac.jp/departments/oral/educational>

（概要）

歯学部歯学科では以下のとおりカリキュラムポリシーを定めている

1. 全人的歯科医療人として具備すべき、倫理観やコミュニケーション能力を涵養するために、人文科学系科目・社会科学系科目を充実させる
2. 歯科医療の高度な専門知識・技能を養成するために、専門基礎分野および専門臨床分野科目を充実させる
3. 科学的根拠に基づいた歯科医療を実践するために、ロジカルおよびクリティカルシンキングを重視した科目を充実させる
4. 全身の健康増進の視点に立った歯科医療を実践するために、関連医学科目を充実させる
5. 多職種連携の重要性を理解するために、学外病院施設での臨床実習科目を充実させる
6. 医療の国際化に対応できる歯科医療人を養成するために、実践的な外国語教育科目を充実させる
7. 問題解決能力および研究能力を醸成するために、テュートリアル教育・研究室配属などの科目を充実させる

歯学部口腔保健学科では以下のとおりカリキュラムポリシーを定めている

1. 全人的歯科医療人として具備すべき、倫理観やコミュニケーション能力を涵養するために、人文科学系科目および社会科学系科目を充実させる
2. 歯科衛生士として社会に貢献するために、専門基礎分野および歯科衛生学分野に関する科目を充実させる
3. 科学的根拠に基づいた口腔保健活動を実践するために、ロジカルおよびクリティカルシンキングを重視した科目を充実させる
4. 口腔と全身の健康との関連性を理解する能力を培うために、関連医学分野ならびに高齢者歯科保健科目を充実させる
5. 保健・医療・福祉の分野と連携できる人材を育成するために、医学・看護学一般・食育と栄養・摂食嚥下支援・先進医療および先進歯科医療に関する科目を充実させる
6. 国際的な視野を広げ、医療の国際化に対応できる歯科医療人を養成するために、実践的な外国語教育科目を充実させる
7. 問題解決能力および研究能力を醸成するために、テュートリアル教育・卒業研究などの科目を充実させる。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：）

歯学部歯学科 <http://www.kyu-dent.ac.jp/departments/dentistry/educational>

歯学部口腔保健学科 <http://www.kyu-dent.ac.jp/departments/oral/educational>

（概要）

歯学部歯学科では以下のとおりアドミッションポリシーを定めている

1. 歯科医学および歯科医療の修得に必要な幅広い基礎学力を備えている人
2. 豊かな人間性とコミュニケーション能力を有し、主体的に多様な人々と協働できる人
3. 論理的思考能力および問題解決能力を備え、自ら新しい課題に意欲的に取り組もうとする人
4. 歯科医学および歯科医療について明確な目的意識を持ち、生涯を通じて学習意欲を持続できる人
5. 歯科医師として地域住民の健康増進および国際社会に貢献しようという強い意欲を持った人

- 歯学部口腔保健学科では以下のとおりアドミッションポリシーを定めている
1. 口腔保健学を中心とする学士課程教育を受けるために必要な幅広い基礎学力を備えている人
  2. 豊かな人間性とコミュニケーション能力を有し、主体的に多様な人々と協働できる人
  3. 論理的思考能力および問題解決能力を備え、自ら新しい課題に意欲的にチャレンジする人
  4. 口腔保健および保健医療福祉に強い興味を持ち、生涯を通じて学習意欲を持続できる人
  5. 歯科衛生士として地域住民の健康増進および国際社会に貢献しようという強い意欲を持った人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<http://www.kyu-dent.ac.jp/about/organization>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	4人	—					4人
歯学部	—	29人	19人	18人	55人	人	121人
	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
人		158人					158人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： <a href="http://www.kyu-dent.ac.jp/research/researcher">http://www.kyu-dent.ac.jp/research/researcher</a>					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
平成30年度 FD実績							
	FD						
	日時	内容					
第1四半期	5月9日	平成30年度学教務組織と学生指導体制について(木尾)					
	6月18日	国家試験の振り返りと今年度の国家試験対策(木尾、引地)					
第2四半期	7月11日	両学科の入学試験結果と高大接続入試について(瀬田、引地、豊野)					
	8月1日	初年次教育・高大接続と共通基盤教育部門の取組み(吉野、鯨、海寶、福泉、中原)					

	9月8日	ワークショップ(学生の主体的学習への支援等について)
第3四半期	11月19日	ワークショップ・セミナー派遣報告(栗野、村岡、渡辺)
	12月12日	学びを育てる道具立て～学習環境のデザインとその活用～(九工大・宮浦先生)
第4四半期	1月21日	医科歯科連携教育(西原、福原、栗野、藤井)
	2月18日	臨床教育におけるデジタル歯科用シミュレーションシステムの活用(栗野)
	2月22日	歯科臨床研修の今後の動向(東歯大・平田先生)
	3月20日	大学院の諸制度の見直し(松尾)、教員個人業績評価について(日高)

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関する事

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
歯学部	120人	121人	100%	670人	678人	101%	-人	-人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	120人	121人	100%	670人	678人	101%	人	人

(備考) 平成31年5月1日現在

b. 卒業生数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
歯学部	117人 (100%)	1人 (0.9%)	24人 (20.5%)	92人 (78.6%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	117人 (100%)	1人 (0.9%)	24人 (20.5%)	92人 (78.6%)

(主な進学先・就職先) (任意記載事項)  
 主な就職先：病院・診療所、医療系企業、公務員  
 その他：臨床研修医含む

(備考)

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
歯学部	120人 (100%)	105人 ( 87.5%)	9人 ( 7.5%)	6人 ( 5%)	人 ( %)
	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
合計	120人 (100%)	105人 ( 87.5%)	9人 ( 7.5%)	6人 ( 5%)	人 ( %)
(備考) 中途退学者のうち進路変更による退学者：5名 2年次及び4年次の留年が多い。					

### ⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) 授業計画は学科ごとに以下の経過で作成し、HP上で公表を行っている。
(1) 歯学部歯学科
① 授業実施計画を定めるカリキュラムマップ作成 (6月-9月)
② シラバス作成 (10月-2月)
③ 歯学科教務部会で審査・承認 (2月)
④ ホームページ上で公表 (3月)
(2) 歯学部口腔保健学科
① 授業実施計画を定めるカリキュラムマップ作成 (4月-6月)
② シラバス作成 (7月-8月)
③ 口腔保健学科教務部会で審査・承認 (9月)
④ 歯科衛生士法施行令で定める変更承認申請 (9月)
⑤ ホームページ上で公表 (3月)

### ⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)				
<p>本学では点数区分別に成績評価を行っており、九州歯科大学履修規程において「秀 (90～100点)、優 (80～89点)、良 (70～79点)、可 (60～69点) 及び不可 (59点以下) で表し、不可は不合格とする。」と定めている。</p> <p>また、GPAの数值はあらかじめ履修規程で定めた算出方法を基に算出している。各科目の成績について秀、優、良、可、不可をそれぞれ順にGPA 4, 3, 2, 1, 0に換算し、計算を行っている。</p>				
学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
歯学部	歯学科	292単位	有 無	312単位
	口腔保健学科	193単位	有 無	212単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：

<https://www.kyu-dent.ac.jp/about/campusmap>

<https://www.kyu-dent.ac.jp/about/equipment>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
歯学部	歯学科 (県内者)	535,800円	282,000円	39,900円	・WADS キャンプ代 1年7,800円、4年7,100円 ・共用試験受験料 4年25,000円
	歯学科 (県外者)	535,800円	520,000円	39,900円	・WADS キャンプ代 1年7,800円、4年7,100円 ・共用試験受験料 4年25,000円
歯学部	口腔保健 学科(県 内者)	535,800円	282,000円	7,800円	・WADS キャンプ代 1年7,800円
	口腔保健 学科(県 外者)	535,800円	520,000円	7,800円	・WADS キャンプ代 1年7,800円

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組

(概要) 教育や生活について積極的に相談できるよう教職員が対応可能な時間帯(スケジュールメントアワー)を設定し、修学を支援している。特に1年次の学生は約10名ずつに班分けされ、それぞれの班を1名の教員が担当する助言教員制度を設けて、学習や生活についての相談・助言を行っている。

b. 進路選択に係る支援に関する取組

(概要) プロフェッショナルリズム教育関連科目を通して、将来を見据えキャリアデザインを意識させる科目を配置している。特に、口腔保健学科では、1年次からキャリアデザインという科目を開設し、保健医療分野をはじめ各種業界で活躍する方々の講演を聴く機会を設けるなど将来の就職を見据えた教育を行っている。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要) 学生の健康をサポートする「健康管理室」を設置し、保健師が保健指導を行っている。また、カウンセリングルームも開設しており、専門のカウンセラー(臨床心理士)が大学生生活で生じるさまざまな悩みや問題について学生の相談に応じている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<https://www.kyu-dent.ac.jp/about/greeting>